２　地理歴史・公民

学校番号	１０８

平成31年度　公民科

教科	公　民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３
使用教科書	高校政治経済（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料2019（とうほう）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会で起こっている日々の様々な問題に関心を持ちましょう。
・新聞やテレビ、特にインターネットの情報はニュースの発信元を確認し正しい情報を得ましょう。
・有権者となることを意識し、様々な社会問題に自分なりの意見が言えるようになりましょう。

２ 学習の到達目標

１民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
２政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。
３公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治，経済，国際関係について関心を高めるように心がけ、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治，経済，国際関係に関わる様々な情報を多様なメディアを通して収集し，有用で正確な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を正しく理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の確認（ノート、コメント用紙等）	定期考査 行動の観察（発問の応答・発表等の評価） 記述の確認（ノート、コメント用紙等）	定期考査 記述の確認及び分析（コメント用紙、提出レポート）	定期考査 記述の確認及び分析（提出レポート）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1編第1章民主政治の基本原理	民主主義のシステムへの理解を深め、世界の国々の政治体制の相違点について理解を深める。	○			○	ａ民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら興味を抱き、現代政治との関連性を追究している。また、主要国の政治制度に関して、日本の政治制度と比較しながら関心を抱いている。 ｄ政治や法、民主主義や人権保障の歴史といった民主政治の基本原理についての知識を有している。社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関して的確な理解を示している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答
	第2章日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立過程について学習する。また、日本の現実の差別問題について考え人権についての理解を深める。世界情勢の現状を踏まえたうえで、日本国憲法の『平和主義』の意義について考える。	○	○		○	ａ日本国憲法の成立過程や日本国憲法の基本原則に対して興味や関心を抱き、現実の人権問題や平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。 ｂ人権保障や平和主義といった憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 ｄ日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて適切に理解している。日本国憲法の基本原則について総括的な知識を有している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答
	第3章日本の政治機構	国会の定数・選挙制度などについて学び、選挙に参加する意義を学ぶ。内閣・行政の制度が持つ問題点について学習し、より良い制度について考察する。司法制度について学び、裁判員に参加する意義を考える。地方自治の意義について学ぶ。			○	○	ｃ国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などマスメディアを通じて収集し、学習のために主体的に活用している。 ｄ国会、内閣、裁判所、地方自治について、憲法条規に照らし合わせて、その仕組みや権限、さらに相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答

	第4章現代日本の政治	政党政治・選挙制度のしくみを学ぶ。行政機関の改編などを学び、日本の官僚制度の問題点を考察する。日本の政治の諸課題について学び、考察をする。		○		○	ｂ政党政治や選挙制度など現実の政治課題に関して、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断し、望ましい有り方を適切に表現できている。 ｄ政党政治や選挙制度、官僚制度などに関して、客観的な知識を持っている。世論と政治の関係を正しく理解している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答
2学期	第5章現代の国際政治	国際政治の諸問題や安全保障を巡る諸課題について学び、国際社会が抱える諸課題の解決策についての考察を深める。	○			○	ａ安全保障についての考え方や、国家間の対立、民族紛争といった国際紛争の諸要因を意欲的に探究している。 ｄ国際対立の経験を通じ、国際間の相互依存、紛争の平和的解決のための国際機構や国際法が発達してきたことを理解し、その仕組みや制度に関する知識を身につけている。 核兵器と軍縮、難民問題といった今後解決すべき国際社会の諸課題について、的確な理解を示している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答 レポート
	第２編第１章経済社会の変容	経済史（資本主義経済の成立から、社会主義が登場し、現代の資本主義が成立するまで）を学び、また、諸経済学者（アダム＝スミス・ケインズなど）の理論を学び、経済社会の変容についての考察を深める。	○			○	ａ経済に対する興味を前提に、資本主義経済の特徴や歴史について意欲的に追究している。 ｄアダム＝スミスからケインズ、さらに新自由主義に至る経済学説を、経済社会の変容にあわせて的確に理解している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答
	第２章現代経済のしくみ	経済学の基礎的な用語について学ぶ。また、市場経済の特性を理解し、金融・財政のしくみを学び、現代企業の資金調達が、株式を中心としていることや、ファンドの活動などを知ることで、現代の経済社会のあるべき姿についての考察を深める。	○			○	ａ株式・金融派生商品などに興味を持ち、現代の企業のガバナンスや株主主導の企業のあり方や、企業の社会的責任投資（植林などの環境保全活動への投資など）・企業のメセナ活動・企業のフィランソロピー活動等を理解するとともに、関心を示している。 ｄ家計・企業・政府といった経済主体相互の関連が、国民経済を構成していることを理解している。 適切な価格決定や資源配分といった市場経済のもつ特性を理解するとともに、その限界についても認識している。 金融や財政に関する基本的な知識をもとに、金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する理解を示している。	

	第３章現代経済と福祉の向上	戦後日本経済史を学び、中小企業問題・農業問題・消費者問題について学ぶ。 少子高齢社会を迎えた日本社会の社会保障のあるべき姿を考え、「地域福祉」の時代を迎え、社会福祉の現状を考察する。長時間労働などの日本の労働者をめぐる諸課題について学ぶ。		○		○	ｂ戦後日本経済史との関連の中で、中小企業や農業問題、公害問題など日本経済の課題を考察している。また、経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を労使関係や社会保障を題材として的確に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 ｄ中小企業や農業問題、消費者問題や公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答
	第４章世界経済と日本	商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。		○		○	ｂ現代の国際経済の動向から、課題を見いだしている。 ｄ自由貿易と保護貿易の考え方、国際収支表の見方や為替レートの仕組みなど、国際経済に関する基本的な知識を習得している。 自由貿易を前提とした戦後国際経済の流れを理解し、国際通貨基金や世界貿易機関などの仕組みに関する知識を有している。 グローバル化が進む国際経済の動向の中で、地域的経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	定期考査 ｺﾒﾝﾄ用紙 発問の応答 レポート

3学期	第3編現代日本の政治や経済の諸課題と国際政治や経済の諸課題	1. 農業、農村と食料、環境問題 2. 雇用と労働をめぐる問題 3. これからの社会保障のあり方 4. 地球環境の保全と経済成長 5. 原子力と再生可能エネルギー 6. 人種・民族問題 上記から課題を選び、複数の代表的な考え方を調べ、望ましい解決方法を考えてまとめ発表する。		○	○		b現代日本や国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。また、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c現代日本や国際社会の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。	ｺﾒﾝﾄ用紙 意見発表 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則的に一つの単元（題材）ごとに全ての観点について評価するが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。